

令和7年12月5日～12月15日実施 回答数137・回答率62%

(4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない 0:わからない)

評価項目	番号	評価内容	評価点					平均
			4	3	2	1	0	
児童	1	児童は笑顔で登校し、楽しく学校生活を送っている。	60%	33%	5%	1%	1%	3.5
	2	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	27%	36%	27%	9%	1%	2.8
	3	児童は、学校のきまりやマナーを守っている。	39%	50%	5%	2%	4%	3.3
教員	4	教員は、児童に教育的愛情をもって接している。	58%	35%	4%	0%	2%	3.6
	5	教員は、児童が「分かった」「できた」と感じる授業を行っている。	42%	47%	5%	0%	6%	3.4
	6	教員は、児童や保護者の相談に真摯に対応している。	62%	28%	7%	0%	2%	3.6
ここからは、長子のところで回答してください。(きょうだいがいても1回のみ回答)								
学校	7	学校は、児童が安心して生活できる環境づくりに取り組んでいる。	47%	49%	3%	0%	1%	3.4
	8	学校は、たよりや学校ホームページ等をとおして学校や学級の様子を伝えている。	64%	32%	3%	1%	0%	3.6
	9	学校は、地域とのつながりを大切にしている。	56%	44%	1%	0%	0%	3.5
家庭教育	10	起きる時刻や寝る時刻など、生活のリズムが身につくよう声をかけている。	61%	37%	2%	0%	0%	3.6
	11	朝食を必ずとるようにしている。	77%	18%	4%	1%	0%	3.7
	12	TV等の視聴やゲーム、携帯電話等についての約束事を守らせている。	32%	43%	22%	2%	1%	3.1
	13	家庭であいさつや礼儀について教えている。	61%	38%	2%	0%	0%	3.6
	14	家庭学習や読書など望ましい学習習慣が身につくように声をかけている。	23%	52%	21%	3%	2%	3.0

保護者アンケート結果

いずかし



R8年1月23日

文責：校長

先日ご回答いただいた学校評価の結果についてお知らせしました。ご協力大変ありがとうございました。いただきました結果やご意見をもとに改善するべきところは改善し、さらに子供たちが安心して意欲的に学ぶことができる学校づくりに努力して

参ります。引き続きご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。(赤色は昨年より上昇、水色は昨年より下降)

【課題と対策】

①家庭学習：家庭学習の意義をしつかり教えると共に、授業と家庭学習がリンクした必要感のある家庭学習を出していきたいと思えます。

②「分かった」「できた」と感じる授業については、理解できていないと感じられているご家庭がやや多いようです。一人一人に目を向けてきめ細かな授業を展開するよう努めて参ります。

【記述欄のご意見・要望】

●運動会のリレー中止について
リレー種目については、堤防側のコーナーがとて荒れており、転倒や怪我の危険性がありましたので、今年度は南側のコーナーのみで競技を行わざるを得ず、結果的にリレーができませんでした。来年度には走れるようコースを整備する予定です。

●ペースランニング走大会について

変更の理由は11月26日のお知らせ及び学校だより30号で掲載しておりますので、確認をお願いします。(学校ホームページでも確認いただけます) 補足として、子どもががんばる姿を、一所懸命走るという姿で見られなかったお気持ちは十分理解できます。

しかし、体の動きを持続する能力を高める運動の学習内容では、自己記録を目指して走り、『頑張る力を身につけること』は、学習のねらいではありません。もし、頑張ることが困難を乗り越える力を育てることにつながるとすれば、懸命に走るという行為でなく、他の教育活動で、保護者に見え、わかりやすくする必要があります。例えば、「勉強を諦めず粘り強く考えて解けるようになった」もその一つだと思います。また、「子どもが、寒さに負けず自分の足で歩いて登校するようになって頼もしく思う」など、見方や捉え方は様々です。困難を克服する力を身につけるには「非認知能力」を様々な教育活動や家庭の支援で高めることが重要と考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、非認知能力につきましては、別号で紹介いたします。

